

こころのはな



すてきな親子の手紙をありがとうございました！

一学期に取り組んでいただいた親子の手紙を紹介します。日頃、口にはできない家族のそれぞれの思いを「短い手紙」にすることで、お互いの気持ちを理解し合うよい機会になったと思います。お忙しい中、心の通う手紙を書いていただき、ありがとうございました。

学年	子どもから大人へ	大人から子どもへ
1年	ママへ (山下 愛珠さん) いつもおいしいりょうりをつくってくれてありがとう。ママがつくるからあげは、かりかりでとってもジューシー！ 10こぐらい食べたいな。いつも大すきっていつてくれてありがとう。あずもママがだいすきだよ。	いつもこころあたままるおてがみをありがとう。からあげ10こ食べたいんだね。よしっ、がんばってたくさんつくろ。たのしみにまわっているね。ママこそ「だいすき！」とだきついてもらえてさいこうにしあわせだよ。
2年	お父さんへ (竹本 善音さん) あーめんどうくさい。学どうのゲームはすごくたのしいし、ユーチューブみるのもたのしいな。 でも、はみがきとかしゅくだいは、めんどうくさいな。めんどうくさいことなくなって、たのしいことばっかりになればいいのにな。	たのしいことばかりだとさい高だよ。でも、めんどうくさいことをするからたのしいことがすごくたのしいと思えるんじゃないかな。 これからもたのしいと思えるようにめんどうくさいこともやっつけていこうね。
3年	お母さんへ (森 夢花さん) お母さん、生んでくれてありがとう。生んでもらったおかげでいろいろな友だちと大きな家族に会えたり、楽しい思い出がいっぱいできたよ。 だから、夢花は生まれることができて、うれしいよ。	夢ちゃん、お手紙ありがとう。今までもらったお手紙の中で、一番嬉しかったよ。ママも夢ちゃんが生まれてきてくれたおかげで楽しいこと、幸せなことが沢山あったよ。こちらこそ夢ちゃんのママにしてくれて本当にありがとう。
4年	お母さんへ (南 瑠音さん) いつも、夜遅くまで仕事をしてくれてありがとう。いつも遅くに帰ってくるから、つかれていると思うよ。だから、仕事はお母さんのペースにあわせてがんばってね。	最近、コロナの影響で仕事が忙しくて、帰るのが遅くなってごめんね。帰ると、玄関まで出てきて「おかえり。」って言うの、ありがとう。 つかれもふっとぶ一時です。
5年	お母さんへ (宇野 綴さん) おかあさん、ぼくは、いろいろある料理の中でも、焼き鳥(たれ)が好きです。だがしかし、焼き鳥はごくまれにしか出てこないのですが、なぜでしょう。いつも料理を作っていたのだから、焼き鳥も出してほしいです。	お母さんも焼き鳥が大好きです。毎日食べたいくらいです。だがしかし、健康のためには様々な食材を食べることが大切なので、泣く泣くいろいろな料理を作っているのです。今日の夕飯が決まりました。焼き鳥です。
6年	お母さんへ (瀬戸 夢斗さん) ぼくは、打てないことが一年も続いて、とってもくやしかったし、くるしかった。でも、お母さんがいつも応援してくれたし、おいしいおにぎりをつくってくれた。お母さん、ありがとう。 これからもぼくは、がんばるから。	いつも野球がんばっているね。ずっと打てなくてつらかったね。やっとヒット打てたね。当たるようになったね。努力はむくわれるということをママは夢斗から教わりました。 あきらめずにがんばっている夢斗は、すごいです。

